

大学院先端技術科学教育部

2006（平成18）年4月の大学院重点化に伴い、教員組織である「ソシオテクノサイエンス研究部」と教育組織である「大学院先端技術科学教育部」を設置した。大学院先端技術科学教育部は、知的力学システム工学専攻（建設創造システム工学コース、機械創造システム工学コース）、環境創生工学専攻（化学機能創生コース、生命テクノサイエンスコース、エコシステム工学コース）、システム創生工学専攻（電気電子創生工学コース、知能情報システム工学コース、光システム工学コース）の3専攻8コースの構成である。2012（平成24）年4月にエコシステム工学コースの学生募集停止に伴い大学院先端技術科学教育部環境創生工学専攻を物質生命システム工学専攻に名称変更したことにより、現在は3専攻7コース構成となっている。

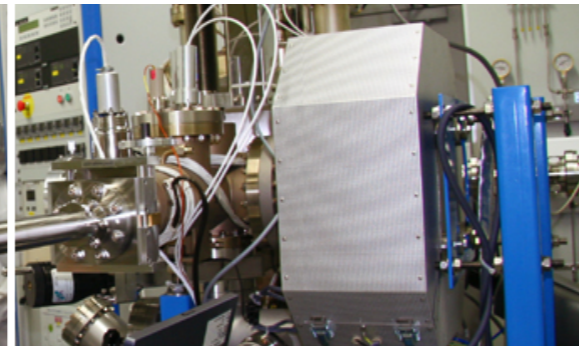
また2006（平成18）年4月には日亜化学工業株式会社の寄附により「ナノマテリアルテクノロジー（日亜）寄附講座」を設置した。この日亜寄附講座では、光通信、光情報処理などのための高機能な新しい光・電子デバイス開発に展開することを目的として、半導体量子構造による高効率・超高速な非線形光学応

答特性のダイナミクスの追求、それを実現するために必要なナノスケールの構造作製プロセス技術など、構造作製から特性評価まで一貫したナノ領域の科学技術の研究を行った。

2005（平成17）年度に研究競争力強化を目指し学内組織として設置した「フロンティア研究センター」は各研究室が常三島キャンパス内に点在していたのを、2012（平成24）年度の補正予算で同キャンパス内に「フロンティア研究センター」棟を新設しその棟に移設、2015（平成27）年6月12日に完成記念式典を挙行了。同センターでは先端ロボットを用いたコミュニケーション支援技術等を開発する「工連携研究部門」、枯渇資源対策及び未利用資源からの有用資源回収等に関する研究を行う「資源循環研究部門」、新しい光機能材料や光デバイスの開発を行う「光テクノロジー研究部門」の3部門の各種研究室や実験室のほか、大学と共同研究する外部の研究者のためのスペースも設けた。このセンターは2018（平成30）年度の「地方大学・地域産業創生交付金」の採択により、「ポストLED研究所」に改編し現在に至る。



ナノマテリアルテクノロジー（日亜）寄附講座（日亜化学工業株式会社の寄附により平成18年4月より設置）



建設創造システム工学コース



機械創造システム工学コース



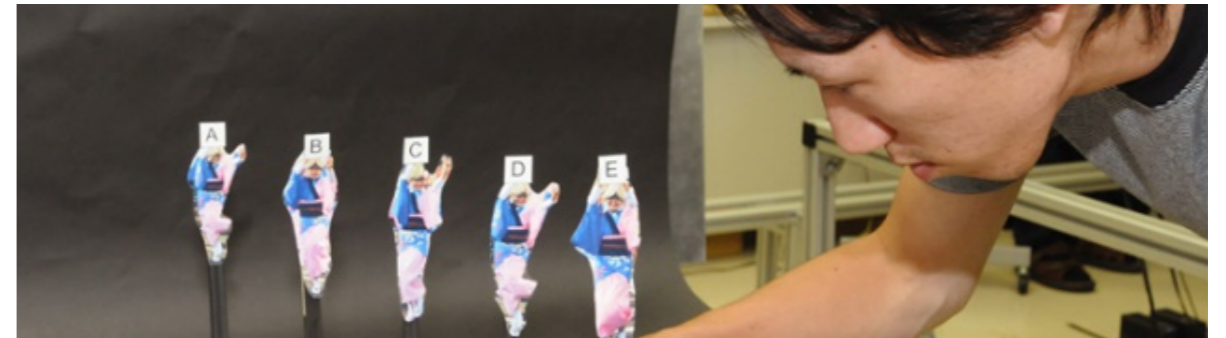
化学機能創生コース



電気電子創生工学コース



知能情報システム工学コース



光システム工学コース



フロンティア研究センター棟
（平成24年度補正予算により整備）